

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	RIPCORD		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル	
RG	2.530	△RG	0.047	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

テストボール：RIPCORD

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

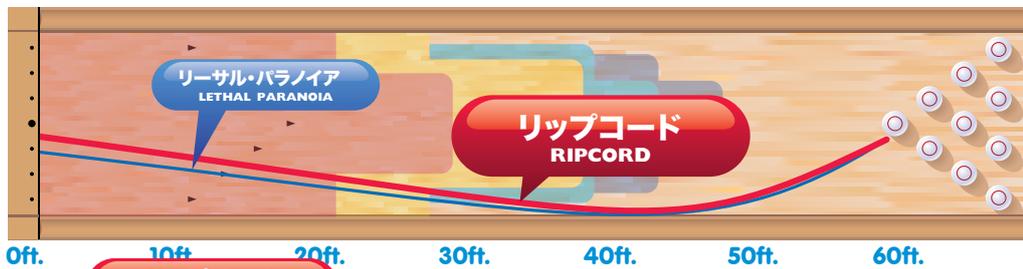
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：LETHAL PARANOIA

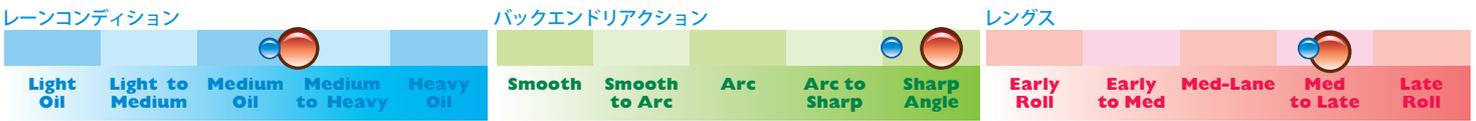
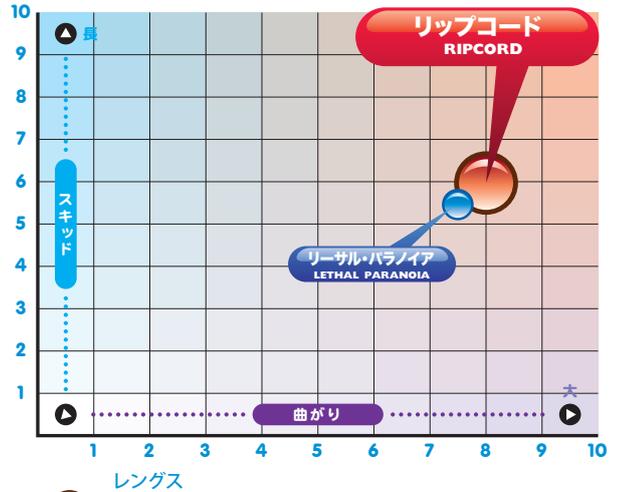
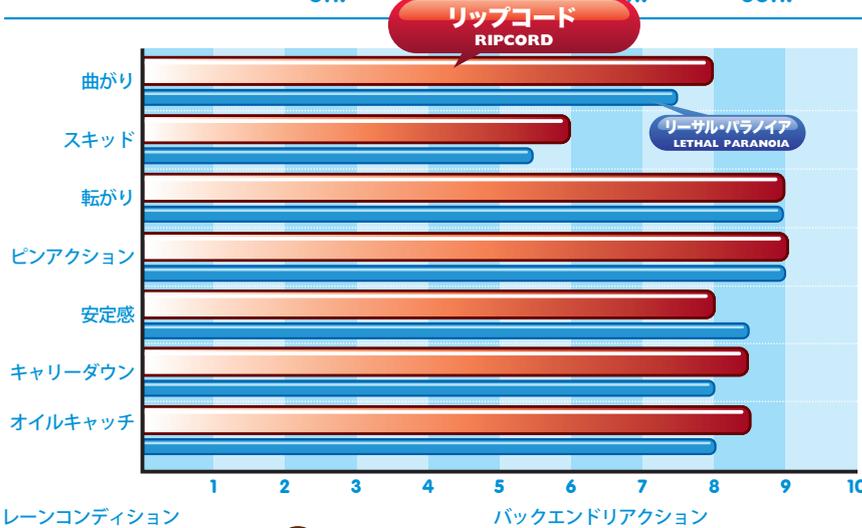
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社の中でよりシャープな領域を担っていたPARANOIAシリーズ。今回発売するこのRIPCORDはPARANOIAのモデルチェンジになるもので、PARANOIAを印象付けるシャープなリアクションを生み出すOblivionコアはそのままに、新たにInfusion Reactiveというカバーストックを纏うことでPARANOIAより進化させたボールとして生み出されました。

テストングでの第一印象は、PARANOIAからの歴代リアクションを思い返しても、これほど先の動きが爆発的な印象付けられるボールはなかったであろう、バックエンドに曲がりの特徴が集約されています。惚れ惚れするのはInfusion Reactiveのスキッドとキャッチのバランスで、凄く軽く感じるボールのスキッド感を得られてもドライエリアで動きもたつかず、がっちりグリップする印象は、オイルさえ多過ぎなければ投げできると感じられるほどスキッド感とバックエンドの動き双方に高いレベルでのバランスの良さを感じます。このRIPCORDを投球して感じたことは、近年キャッチの強いボールが次々と生まれる中、レーンに作られたコンディションも目まぐるしく変化します。その過程で手前のオイルだけ顕著になくなり、手前だけ中目に寄りたがると奥とのラインの幅が広すぎて戻しきらないと感じる事です。その場合、そのラインを戻せるだけのボールの性能が必要になります。そんなときにこのRIPCORDは他のボールにはない性能を発揮してくれます。このような性能のボールは摩擦が多く感じられる高回転を要するボウラーに必要なとされがちですが、私のようなストローカーのタイプでも十分RIPCORDの性能を味わうことができます。出し戻しが有効なラインはもちろんのこと、ややオイルを多く使っても弾かれるイメージのないのがInfusionカバーの性能の高さでもあります。

PARANOIAシリーズを使われた方や他のメーカーからの買い替えで先の動きを求めている方には気に入って頂けるでしょう。

特記事項

PARANOIAの先の動きをさらに強烈に進化させたRIPCORD。最新の高粘度のオイル用に開発されたInfusionカバーの良さが光る逸品です。